

川畑満里子さん『音読』（5月24日配信）

私には1歳と4歳の娘がいます。

上の娘が最近、公文に通い始めました。

週に2回公文に行き、それ以外の日はもらってきた宿題を家でやっています。

今は国語をやっていて、2つの宿題が出されています。

ひとつはなぞり書き。例えば、リンゴなど描かれた絵の上から線を書いていくというものです。

もうひとつは音読です。初めは「かさ」や「りんご」など簡単な単語から始まり、次に少し難しくなって2語文をやります。「ダイコンは白い」や「ダイコンは大きい」といった文章を読むんです。その時に、親がろう者だとどうやって音読するんだろうと思っていました。

宿題を家でやる時に、娘はまずひとつめの宿題を終え、次に音読をやるとなった時に、どうするのかなと思いこちらから何を言うわけでもなく様子を見守っていました。すると初めは指文字で「だ・い・こ・ん・は・し・ろ・い」とやり出したんです。その後、私から「どういう意味なの？」と聞くと、手話で「ダイコンは白い」と説明してくれたので、意味もちゃんと分かっているんだなと思いました。